

PTA奉仕作業・資源物回収ありがとうございました

11月11日(日) PTA奉仕作業と第2回目資源物回収を行いました。奉仕作業は、主に校庭の樹木の雪囲いと、ヘチマ棚の撤去、一輪車等の片付けでした。驚いたことは保護者の方々の段取りのよさです。だれがに支持されるのを待つのではなく、どんどん自分から作業され、当初1時間を予定していた作業が40分で終わってしまいました。そして、もう一つ驚いたのは、鉄棒などの遊具にも雪の重みで変形しないように支柱を立てることです。30年以上教職をしていますが、ここまでしっかりとした雪囲いするのを見たのは初めてです。学校に対する思いを強く感じました。

資源物回収は、例年どおり旧一小、二小、三小学区に分かれて実施しました。第1回資源物回収から半年しか経っていないのに、とてもたくさんの資源物が集まりました。そして、回収作業では、保護者の方がたくさんの軽トラック等を出してください、また、小学校にお子さんのいない地区の方々までもが回収に協力くださいました。お陰様でとてもスムーズに回収を終えることができました。そして、大人に混じって活動する子ども達の姿も多く見られました。保護者の方々と一緒に活動することもたちの表情は、とても嬉しそうでした。ご協力ありがとうございました。

収益金額は **140,811円** でした。
子ども達のために、大切に使用させていただきます。



雪囲いを行う保護者の方々



集められた資源物

建設現場見学会

5年生 場所：西会津町

11月9日(金) 5年生9名が建設現場見学会に参加しました。県土木部と県喜多方建設事務所主催の見学会で「建設業界が取り組む身近な社会貢献を理解し、もの作りに興味を持ってもらおう」という企画です。子ども達は、実際の建設現場で工事の様子を間近で見たり重機に載せてもらったり、とても貴重な経験をすることができました。また、ドローンを使っての建設の状況確認は、とても印象に残ったようです。見学後「大人になったら建設の仕事をしてみたい。」という感想を書いた子どももいました。



見学に参加した5年生

道徳の授業が変わりました

県教育委員会から「道徳のとびら」というパンフレットが各家庭に配られました。実は、今年度から今までの「道徳」から「特別の教科道徳」に変更になりました。しかし、学習する内容に大きな変更はありません。変わるのは授業の流し方です。今までは主人公の気持ちを考えることが多く行われていましたが、これからは「考え、議論する道徳」へと変わっています。つまり、お互いにいろいろな意見を出し合い、より広く、深く考える学習を行うようになります。そして、子ども達の学習の様子を通知表でお知らせします。

ぜひ、配付されたパンフレット「道徳のとびら」をお読みください。



「道徳のとびら」

